

Chapter
34
2013 9/29
日

■開場 13:30
■開演 14:00



奥田 なな子

奥田なな子
OKUDA Nanako (チェロ)

鈴木華重子 (ピアノ)



鈴木 華重子

◆プログラム◆
J.S.バッハ：
チェロ無伴奏組曲1番より
サン＝サーンス：
白鳥
シューマン：
トロイメライ ほか

※曲目は変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



すぐ目の前、手が届くところにある感動と発見。
ファンはもちろん、苦手な貴方にもお勧めのクラシック音楽入門篇。

クラシックのエントランス

黒部市国際文化センターカラーレ(マルチホール)

全席自由
珈琲 紅茶付

〈各回〉一般：3,000円 高校生以下：1,000円
〈2回通し〉一般：5,000円 高校生以下：1,500円

富山県公立文化ホール活性化事業
主催/公益財団法人黒部市国際文化センター 協賛/チューリップテレビ
後援/黒部市・黒部市教育委員会・富山県・富山県公立文化施設協議会

●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
●未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演前日の18:00までにお申し込みください。

プレイ
ガイド

カラーレ/黒部メルシー/魚津サンプラザ/入善コスモホール/
アーツナビ(新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・
富山県高岡文化ホール)

●お問い合わせ・チケットの申込み カラーレ

富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
e-mail:info@colare.jp http://www.colare.jp/
開館時間：9:00~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

Chapter
35
2013 12/15
日

■開場 13:30
■開演 14:00



三浦 一馬

三浦一馬
MIURA Kazuma (バンドネオン)

長富 彩 (ピアノ)



長富 彩

◆プログラム◆
ガーシュウィン：
ラブソディ・イン・ブルー
ピアソラ：
バンドネオン協奏曲 第1楽章
クリスマスメドレー ほか

※曲目は変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



奥田 なな子 OKUDA Nanako(チェロ)

東京藝術大学附属高校を卒業と同時に、文化庁芸術家在外研修員としてドイツ・フライブルク音楽大学に留学。ベルリン芸術大学に移籍し、ディプロマを取得。2012年、同大学院ソリストコース、並びにアルテミスカルテット室内楽クラスを修了、国家演奏家資格を取得し帰国。2003~05年、文化庁芸術家在外研修員（奨学生）。2006~10年、ロームミュージックファンデーション奨学生。

2006年、バーデンバーデンフィルハーモニー管弦楽団と共演。2008年、京都青山パロックザールにてデビューリサイタルを開催。室内楽にも力を入れており、2010年びわ湖ホールでの五重奏「鱈」の演奏は『音楽の友』誌上で“清潔な技巧と呼吸”と評される。常陸宮殿下・妃殿下ベルリン訪問の際には日本大使館にて弦楽四重奏での御前演奏を行った。大使館、福祉施設やホスピスなど、ドイツ国内の様々な場で演奏を行う。2012年、日本演奏連盟主催シリーズにおいて大阪いづみホールでソロリサイタル。2013年、日本センチュリー交響楽団とコンチェルトを共演。ソリストとして活動する傍ら、オーケストラ奏者としても活躍。

現在、兵庫芸術文化センター管弦楽団フォアシュビラー。



鈴木 華重子 SUZUKI Kaeko(ピアノ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業。その後渡米し、インディアナ大学でアーティスト・ディプロマ修了。同大学在学中、フランコ・グッリ、ヤーンシュ・シュタルケル、堤剛の各氏のスタジオピアニストも務める。さらにドイツ、フランスでも研鑽を積み、これまでソロ、室内楽、協奏曲などの演奏会にて活躍する。帰国後は、日本演奏連盟主催（文化庁助成）演連コンサートを皮切りに、国内各地でソロリサイタルを開催し好評を博す。室内楽にも意欲的に取り組み、堤剛、上村昇、トレヴァー・ワイ、ティモシー・ハッチンス、エミリー・バイノンなど世界的音楽家からの厚い信頼を得て共演を重ねている。活躍は日本国内にとどまらず、中国、台湾、韓国での演奏会開催の他、神戸国際フルートコンクール、アメリカのASTAコンクール（弦楽器）では公式ピアニストを務めるなど舞台の場を世界に広げている。また音楽祭にも多数招聘されている。宝塚ベガ音楽コンクール入賞、京都音楽協会賞、松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、京都芸術祭最優秀協演賞、びわ湖国際フルートコンクール最優秀共演賞、摂津音楽祭伴奏賞など多数受賞。現在、大阪樟蔭女子大学特別講師。



三浦 一馬 MIURA Kazuma(バンドネオン)

1990年生まれ。小松亮太のもとで10歳よりバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオン界の最高峰ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリア・カステルフィダルド市で開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。オーケストラとの共演も数多く、2007年の井上道義の上り坂コンサート（神奈川フィルハーモニー管弦楽団）での協奏曲を皮切りに、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。

パッサからガーシュウィンまでを自身で編曲・演奏するなど、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりがNHK「トップランナー」に取り上げられ、再放送となる反響を呼ぶ。その他、コンサート活動の傍らテレビやラジオ出演も多数出演。これまでにビクターエンタテインメントより「タンゴ・スイート」「ブエノスアイレスの四季」「カメラタンゴス」をリリース。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。
公式サイト <http://kazumamiura.com/>



長富 彩 NAGATOMI Aya(ピアノ)

1986年生まれ。2002年、東京音楽大学付属高校ピアノ演奏家コースに特待生奨学金を得て入学。2005年よりハンガリー国立リスト音楽院へ留学。バルトークやリストの研究者で世界的に著名なジョルジュ・ナードルに師事。2008年より米国に拠点を移しての演奏活動を開始。同年、ニュージャージー州・プリンストン大学でのシンポジウムに奨学生として参加し、エドナ・ゴランスキーにタープマン奏法を学ぶ。2009年、NYCスタンウェイホールにてリサイタルを行い満席となった。

これまでに日本コロムビア(株)より「イスラメイ~100年の時を経て甦る、ピアノの黄金時代」「リスト巡礼」をリリース。2013年1月に発売した最新アルバム「レゾナンス~ホロヴィッツ・トリビュート」では、タカギクラヴィア(株)の協力の下、ホロヴィッツが恋したと言われる銘器「スタインウェイCD75」をレコーディングに使用。レコード芸術誌において特選盤に選出された。現在、日本各地でのリサイタルに加えオーケストラとの共演、室内楽などの分野において精力的に活動している。